

# 箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
箕面ユネスコ協会事務局  
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20  
みのおキューズモール2Fみのお市民活動  
センター内 箕面ユネスコ協会 (メル・ブックス)  
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



- ◆ 目 次 ◆
- 活動報告
  - お知らせ

♪ホームページ折々に更新中!  
「箕面ユネスコ協会」  
で検索してください♡

## ウクライナ緊急募金、ありがとうございました！



皆さんからの募金〈89575円〉を、日本ユネスコ協会連盟を通し、ウクライナ隣国で避難民の支援をしているルーマニアユネスコ協会及びスロバキアのNGO・ピープルイン・ニード・スロバキアへ送金致しました。

日本ユネスコ協会連盟では、ウクライナの隣国ルーマニアのルーマニアユネスコ協会センタークラブ連盟等と共同で、ウクライナ難民支援を行って来ました。3月4日から5月31日まで「ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金」を呼びかけ、これまでに全国から7924万6464円（6月10日現在）の募金が寄せられました。この募金をもとに、現地のユネスコ協会などを通じて、ウクライナ避難民のための宿泊・食糧・生活物資などの支援を行いました。その中には、私たちの募金も含まれています。

ウクライナへの支援は長期間を要すると思われれます。わたしたちは、今後も息の長い募金活動を行う予定です。お預かりした募金は、ルーマニア等のユネスコ協会などに直接届けることのできる貴重な募金になります。

引続き、募金へのご協力をよろしくお願いいたします。



●箕面市立萱野小学校 5年生●  
つながろう！スマイルプロジェクト



♪お話の後、子どもたちとの作業です

20年ほど前、「子どもの頃の思い出に残る景色は」と仲野顧問にたずねたことがあります。すぐに「青々とした田園風景だ」と答えが返ってきました。

6月22日、農村少年だった仲野顧問が、大切に育てた種苗と田の土を軽トラで萱野小学校に運びこむところから、プロジェクトが始まります。

講堂で、田起こし、苗代、草刈等々、刈り入れまでの大まかな作業のあらましを説明したあと、子どもたち各自用意したペットボトルでの田植え作業にかかりました。

子どもたちの感想です。

※水やりもちゃんとして、大切に育てていきたいです。

※毎日かかせず水やりをする。水はたくさん入れる。日光があたる所におく。

※最初は土をさわるのがいやだったけど、

農家さんがこれをして、みんなの給食にでていると思ったら、お米は大切に育てようと思ったのでがんばれました。

※お米をがんばって作って食べたいと思いながら田植えをしました。（岡 修）



♪稲をさわるのも久しぶりやなあ…  
中嶋嘉伸さんも田植えの応援です

フィールドワークに行ってきました！ 認定NPO法人こどもの里（大阪市西成区）

箕面ユネスコ協会は、「子どもの貧困」をテーマに、西成区にある「こどもの里」にフィールドワークに行ってきました。参加したのは箕面ユネスコのユースメンバー、大阪青山大学の学生、奈良ユネスコ協会の中村さん、日ユ連盟の仁藤さんたちです。「こどもの貧困ってどんなだろう？」「どんなところなんだろう？」頭にハテナをいっぱい並べたまま理事長の荘保さんにお話を伺いました。どんな環境に生まれ育った子どもも「生きる力」持っている。そんな荘保さんの力強い想いが、発せられる言葉全てに散りばめられていました。ここには、日雇労働の親のもとで育つ子どもたち、暴力を振ってしまう親、逃げてきた親子など多くの事情を抱えた方々が日々相談に来られ、彼らを暖かく迎えて地域で受け入れるという取り組みをされています。この日は子どもたちと遊ぶことを通じてそのことを肌で感じました。（山田 祐加）



▶子どもと触れ合う  
▶女性専用住居の訪問

## ●こどもの里を訪れて（大阪市西成区）

7月下旬、西成にあるこどもの里を訪れました。認定NPO法人Homedor やよろしい葺工房の存在をテレビで知ってから、西成はずっと訪れたいと思っていた場所でした。実際に西成を訪れて拍子抜けしました。私が通う大学のある旭区は、千林商店街や赤川地域に代表されるように、これぞ下町という場所なのですが、そことあんまり変わらないように感じました。しかし、こどもの里を訪れて、やっぱり西成は他とはちょっと違うと感じました。特にホームレスや日雇い労働者という存在が子どもたちに当たり前に認識されていることは衝撃でした。

こどもの里で印象に残っている出来事が1つあります。こどもの里を案内してもらっているとき、荘保さんに「ホームレスの方にどういう風に接したら失礼にならないですか」と質問しました。すると、「おんなじようにお母さんのおなかの中から生まれたって考えればいいねん。自分ちょっとその人らのこと違う人やと思うてるやろ」と言われました。私は知らぬ間に差別をしていたことに気づき、そんな質問をしてしまった自分が恥ずかしくなりました。

こどもの貧困という問題を解決するためにはどうすればよいのだろうか。こどもの里を訪れてから、一生懸命に考えましたが、これだという方法は思いつきませんでした。しかし、日雇い労働でヘドロ掃除をした若者が「現場のおっちゃんたち、総理大臣より偉かったで」と言ったというエピソードから、日雇い労働者やホームレスの人のポジティブな話をもっと知ってもらうのが大事なのではないかと思いました。ただ、私の本分である機械工学の勉強を疎かにしてまでそれを実行する勇気はありません。まずは、定期的にこどもの里を訪れることから始めて、細く長くこどもの貧困という問題に向き合っていきたいです。

（川本 実弥）



## ユネスコ協会連盟小山田理事 in 箕面！懇談会を開催

ユネスコ協会連盟の小山田隆理事は、生活困難な子どもの支援をする新たな取り組みを検討されており、その意見交換を箕面ユネスコ協会に要請頂きました。「現状の活動ツールを箕面モデルとして体系化できないか」「どうやって様々な活動を行っているのか」「西成区の子どもの里に協力するのはどうか」といったご相談がありました。

「箕面ユネスコは、地域の市民活動センターやNPOといった地元で根付いた団体と連携しながら地道にイベントを開催することで、継続ができています。その繋がりから新たな人との繋がりやチャンスを掴み次の活動に繋げる。そうやって成り立っています」「子どもの里と協力することは私たちにとって意義のあること。けれど、スタートラインが違う環境の子どもたちと繋がりを作るのはそれなりの時間を要します。長期的に信頼関係を作るところから始まり、ゆくゆくは一緒に活動する日がくればと思っています」…。

この日参加した様々な背景をもつメンバーが夫々意見を出し合い、「生活困難な子ども」という深い切り口の話について考え話し合う機会をもつことができました。私たち箕面ユネスコ協会は、これからも元気よく活動を継続しながら、挑戦することを止めません！

（山田 祐加）



▶懇親会参加者のみなさんと記念撮影

## 今年で11年14回目「がんばろう!つばさネットワーク」東北へ

「がんばろう!つばさネットワーク」北摂つばさ高校を中心に、春日丘高校、手塚山泉ヶ丘の生徒等、43名、7月15日～19日まで、14回目の東北支援ボランティアに行ってきました。箕面ユネスコでは10年以上現地サポートを行なっています。大阪からバスで、北陸道を通り宮城県気仙沼まで14時間。南三陸町防災庁舎、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承、ここでは被、遺構として残された気仙沼向洋高校の生徒やOBが語り部として、案内いたしました。被災した気仙沼 子ども支援 NPO 浜わらす「はまわらす」とビーチクリーン、大島では牡蠣の養殖業を再開した小松さんのところでボランティアを行いました。最終日は宮城県立気仙沼高校との交流、宿泊は、気仙沼八瀬地区の「森の学校」の皆さんの家で民泊。2日間お世話になりました。

(伝承館の語り部は被災した向洋高校の生徒の皆さんでした)



## ●2022年度総会を開催しました♪

5月15日(日)に萱野小学校視聴覚室で2022年度総会を開催しました。総司会の岡事務局長の開催宣言により、来賓代表の佐藤 秀昭萱野小学校校長からご挨拶をいただきました。次に丸岡朋樹議長で議事進行が



行われ、昨年度の活動報告として、コロナ渦中でもあきらめず、工夫しながら行った箕面ユネスコ協会の活動を報告しました。

今回の総会には日本ユネスコ連盟より事務局の仁藤さんが出席されました。総会終了後、生活困窮による家庭の子どもの支援についてワークショップとヒヤリングが行なわれ、活発な意見が出されました。

## == お知らせ ==



Bar Bridge

### ■ Bar Bridge

9月17日 17:00～20:00 期間限定でかやのさんべい橋にバーがオープン。ドリンク片手に、「好きなこと」を語り合いませんか?夜風を感じ、楽しいひとときを。ということで箕面ユネスコもカウンターを出します。是非お立ち寄りください

### ■ 第78回日本ユネスコ運動全国大会 in 木更津

2022年11月26日(土) ①大会/13:00～17:00

(12:00開場) 大会/かずさアカデミアホール

参加ご希望の方はメールでお問い合わせ下さい

[sakappmm@sukyblue.ocn.ne.jp](mailto:sakappmm@sukyblue.ocn.ne.jp) 箕面ユネスコ協会

